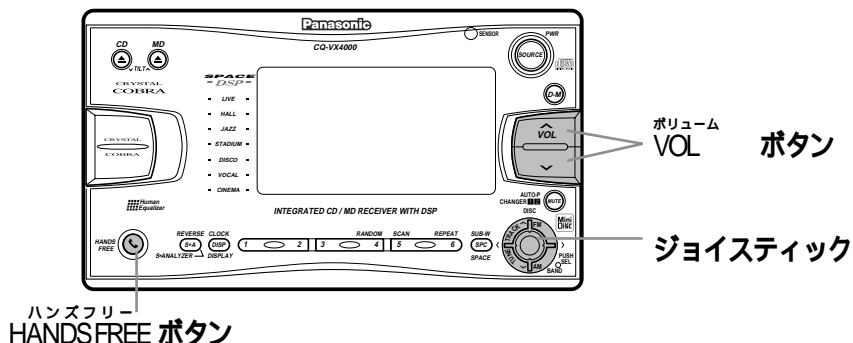


便利な機能(つづき)



電話機を持たずに通話する

ハンズフリー通話

別売のハンズフリー通話キット CA-HF1000D と、下記のデジタル または i モード携帯電話(以下 電話機) を変換アダプターで接続してご使用ください。(P.44 参照)

対応機種 (2000年3月現在)

NTT ドコモ「デジタル・ムーバ P (パナソニック製)」

- デジタル携帯電話 : P208, P207, P206, P205
- i モード携帯電話 : P502 i, P501 i

交通事故の原因になりますので、
運転中は電話をかけないでください。

ハンズフリー通話機能を使用する/しないを選ぶ

① 本体のHANDS FREE (以下 HF) ボタンを2秒以上押し、

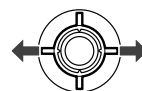


2秒以上押し

② ジョイスティックを左右に倒す。

ON
使用する
(初期設定)

OFF
使用しない



お願い

- 電話の「着信音量」と「受話音量」は、最大にしておいてください。
- 電話の「着信バイブレータ」や「マナーモード」「オリジナルマナーモード」は、解除してください。
- 電話機の操作は、各々の取扱説明書をご覧ください。 **運転中の電話操作はおやめください。**

お知らせ

- 以下のような電話の機能に反応して、“リーン”という「着信お知らせ音」が鳴ることがあります。
電話のボタン確認音/メール着信音/着信バイブレータ/アラーム音(タイマー機能)など
電話をご使用になる場合には、電話機からコードのプラグを抜いてください。
- 電話を相手が先に切ったときの「ツーター」という話中の音が長い場合には、“リーン”という「着信お知らせ音」が鳴ることがあります。
- 本機の音量がミュート中は、着信されません。
- 「ツーター」という話中の音に似た音などに反応して、自動的に回線が切れることがあります。
- 本機の電源が切れていても、着信するとHFモードに切り替わります。
- HFモードは、エンジンを再スタート(またはACCをOFF/ON)すると、通常モードに戻ります。
通話を続けたいときは、HFボタンを押してHFモードにしてください。(長く押しと切れてしまいます)
- 通話中にエンジンを再スタート(またはACCをOFF/ON)すると、回線が切れることがあります。
エンジン(またはACC)をOFFする前に、電話機の接続コード(プラグ)を抜いてください。